

他県史の引用・参考文献、図表等の例

県 史	愛知県史	山口県史	千葉県の歴史
巻 次	通史編 9 現代	通史編 現代	通史編 近現代 3
刊行年	令和 2 年 (2020 年)	令和 4 年 (2022 年)	平成 21 年 (2009 年)
対象時期	1945 年 (昭和 20 年) の敗戦から 1989 年 (昭和 64・平成元年) 頃まで	概ね第二次世界大戦が終結した昭和 20 年 (1945 年) から 平成 24 年 (2012 年) 頃まで	敗戦から 1990 年ごろまで
ページ数	843 ページ (索引除く)	1,105 ページ (索引、写真・図・表一覧除く)	1,013 ページ (索引、写真・図・表一覧、参考文献一覧除く)
引 用 援 用	<p>(凡例、抜粋)</p> <p>6 資料 (史料) を引用する際は、原則として現代語訳とした。ただし、原資料 (史料) をそのまま引用した場合に、読みやすさに配慮し、振り仮名等を付した場所もある。</p> <p>7 本文に用いた資料は、『愛知県史』に収録されている場合は、巻名 (略称) および資料番号、またはページを用いて示した。</p> <p>8 記述に引用、もしくは参考とした資料 (史料) の注記は最小限にとどめ、巻末に一覧として示した。参考とした研究成果は、参考文献として巻末に一覧として示すとともに、必要に応じて注記した。</p>	<p>(凡例、抜粋)</p> <p>1、本巻の記述にあたって引用または参考にした史・資料については、原則として編集者・名称・冊番号・刊行年・所蔵者等を、本文中に () で示した。ただし、省略して記したものがある。省略して記したものの略</p> <p>1、本巻の記述には多くの研究成果を援用したが、本巻の性質上、その注記は最小限にとどめた。</p> <p>1、史・資料を引用する場合は、「」で示した。長文にわたる場合は、改行のうえ二字下げで記載した。</p> <p>1、史・資料等の字体は原則として常用漢字表に従い、表外漢字については原則として正字に改めた。ただし、特に必要と判断したものについては、史・資料原本のままとした。</p> <p>1、読みやすさを考慮して、引用史・資料、歴史的用語・表現には適宜、ルビ・傍注・「」を付した。なお、編集者が加えたルビ・傍注は、原本のものと区別するため、すべて () で示した。</p> <p>1、史・資料引用および作表にあたって、数値に関しては、原則として典拠史・資料の記載のままとした。計算上疑義があり修正した場合は、その旨を注記した。</p>	<p>(凡例、抜粋)</p> <p>7 本文中の引用史料は「」で示した。長文にわたる場合は、改行して二字下げで記した。なお、引用史料は、現代語訳を原則としたが、一部原史料の表記のまま掲載したものもある。</p> <p>8 本文中で使用した資料には、『千葉県の歴史 資料編』各巻に掲載されているものもあるが、巻名・資料番号などは特に明記しなかった。</p> <p>9 本文の叙述には多くの研究成果を援用したが、本書の性格上、典拠を省略した。なお、参考にしたおもな文献については、巻末に掲げた。</p>
図・表・ 写真	<p>(凡例、抜粋)</p> <p>9 図・表には、章・節ごとの通し番号を付し、巻末の一覧で表題・出典・所蔵者名・作成者名などを示した。</p> <p>4 0 1 点</p>	<p>(凡例、抜粋)</p> <p>1、写真・図・表には、それぞれ一連の番号と表題を付した。その場合、編・章の番号に続いて写真・図・表の通し番号を記す枝番形式とした。キャプションは本文記述との重複を避けるため、簡潔に記すこととした。同様に、写真・図・表の典拠についても、簡潔に示した。</p> <p>3 9 6 点 (口絵 15、写真 170、図 58、表 153)</p>	<p>(凡例、抜粋)</p> <p>10 本文中の写真・図・表には通し番号を付し、巻末に一覧を掲げた。</p> <p>5 8 2 点 (口絵 47、写真 334、図 83、表 118)</p>